

接続語 レベル9

□ 小5・6国語 中学受験対策

日前
月名

■ 次の文章の空欄(1)～(5)にあてはまる言葉をそれぞれ次のア～オから選び、記号で書き入れましょ。 (同じ記号は一度しか使えません)

アメリカ人と日本人の人間関係の作り方には違いがある。アメリカ人は人と関わる際に、相手を説得し、自分の意見を通すことを重視する。(1) 日本人は相手の意向を知つて、場の雰囲気を良くすることを重視する。(2) 日本人はむやみに自己主張をしない。では、(3) 両者的人間関係の作り方にこのような違いが生ずるのであろうか。それは両者の、自分というもののへの認識が違つているからだ。アメリカ人は、自分を社会や環境からの影響を受けない独立したものと考える。一方、日本人は、自分を他者や社会との関係の中で成立するものと考える。(4) どちらの自分への認識のあり方が正しいのかということは愚問である。かつては、日本人は欧米人に比べて劣つていて、前提に立つ論がよく見られたものだが、価値観の多様化が呼ばれている現代においては、違いを違いとして冷静に認識することが大切である。安易な序列化には(5) 意味がない。

ア 全く イ ちなみに ウ なぜ エ だが オ だから

2 次の文章の空欄(6)～(10)にあてはまる言葉をそれぞれ次の力～「から選び、記号で書き入れましょ。 (同じ記号は一度しか使えません)

「隣の貧乏は鴨の味」ということわざがある。すなわち他人の不幸は自分の優越感を満足させるということだ。これと似た意味を持つドイツ語の単語に「シャーデンフロイデ(Schadenfreude)」という言葉がある。心理学ではこの「シャーデンフロイデ」を、自分よりも劣っている他者と対比する「下方比較」によつて生じるものとする。(6) 、自分よりも成績が下のものを見て喜ぶ、ということがこれに当てはまる。逆に、自分より優れた他人と対比する「上方比較」によつて生じる感情が「妬(ねた)み」である。自分よりも成績が優秀なものを憎く思う感情はこれである。(7) 、仮にあなたが極めて成績が優秀な

が優秀なものを憎く思う感情はこれである。

(7)



学生であつたとする。あなたは、(8)_____、他の学生から成績優秀であることによつて「妬(ねた)み」を受けることもあるかもしれない。その場合、あなたがするべきことは、自分より成績の下の者を見下して、自分の優越感を満足させることではない。(9)_____、積極的に自分の失敗談を話すことなどをして、周囲にシャーデンフロイデを感じてもらうのがよいだろう。(10)_____自分のシャーデンフロイデより、周囲のシャーデンフロイデを満たすということだ。

力さて キ 例えば ク むしろ ケ つまり コ もしかすると